

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名 凸版印刷株式会社		事業所名 朝霞サイト			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置	H27	H28	H29
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	(01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	ISO14001にて物流部門も副部門化	○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	(02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	ISOなどで温暖化対策への対応を明記	○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握	()	ISO14001のシステムにて取り組んでいる	○	○	○
04 積載率の向上	(01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	梱包形状・パレット規格は統一されている	○	○	○
04 積載率の向上	(02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	フレコン梱包の簡易梱包化	○	○	○
04 積載率の向上	(03) 輸送量に応じた適正車種での発注	3PL事業者にて積載量に合わせて発注	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	3PL事業者にて同一エリア内の発注は極力積み合わせや混載便を利用	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	デジタルタコメーターの設置などを要請	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	デジタルタコメーターなどで状況を随時確認	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブなどの実施を要請、実績確認	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	配送指定時間を出来る限り午前・午後のように幅をもたせるように交渉し、荷物を集めて積載率を向上	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	協力会社間にルート便を回すことで少量輸送を削減	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	3PL事業者にて道路混雑状況を確認	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスを活用	協力会社間と連携している	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	協力会社の物流拠点を活用している	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	工場間、協力会社間と連携して定期便を活用している	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	定期便について荷物の量を連携して車の大きさや便数を調整している	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	場内空地へ車両を誘導している	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	生産拠点の最適地化、インプラント化による輸送距離の削減	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	凸版印刷株式会社	事業所名	川口工場			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29

自動車地球温暖化対策実施方針

01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	3PL事業者にてISO、グリーン経営認証取得済	○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	ISOなどで温暖化対策への対応を明記	○	○	○
02 モーダルシフトの推進 ()	貨車輸送の推進を行っている	○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	省エネ法(荷主)にて把握	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	梱包形状・パレット規格は統一されている	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	フレコン梱包の簡易梱包化	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	3PL事業者にて積載量に合わせて発注	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	3PL事業者にて同一エリア内の発注は極力積み合わせや混載便を利用	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	デジタルタコメーターの設置などを要請	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	デジタルタコメーターなどで状況を随時確認	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブなどの実施を要請	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	配送指定時間を出来る限り午前・午後のように幅をもたせるように交渉し、荷物を集めて積載率を向上	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	協力会社間にルート便を回すことで少量輸送を削減	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	3PL事業者にて道路混雑状況を確認	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用	子会社にアウトソーシング	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	緊急配送の削減	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	生産拠点の最適地化、インプラント化による輸送距離の削減	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	ISO14001にて物流部門も副部門化	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	荷捌きエリアや駐停車場所などの整備	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	緊急配送の削減	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	凸版印刷株式会社	事業所名	坂戸サイト			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29

自動車地球温暖化対策実施方針

01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	輸送の協力会社の燃料使用量と走行距離を管理。	○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	輸送の協力会社に自動車地球温暖化対策計画書の提出を依頼。	○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	輸送の協力会社から輸送距離等の情報を収集しCO2排出量を把握。	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	製品や材料のサイズなどによりパレットへの適正な積み付けを行っている。	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	製品の仕様により適正な梱包方法や梱包材料を採用している。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	製品や材料の輸送量に応じて適正な輸送車を配車している。	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	社内の事業所間の定期輸送は混載便を使用。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	輸送の協力会社は、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車を使用している会社を積極的に利用。	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	輸送の協力会社には低燃費車の使用を推奨。	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	輸送の協力会社にはエコドライブの実施を推奨。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	生産計画に応じて計画的に輸送し納品。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	できるだけ計画的な配送を行い、臨時便は削減。	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	道路状況に応じて輸送経路を選択するなど努めている。	○	○	○
07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用	輸送業務は輸送専門ファミリー会社に委託し、社内の生産管理部門と連携することにより業務を効率化。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送業務の専門ファミリー会社の拠点を利用。	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	生産計画時に生産拠点や配送計画も立てて輸送距離・回数を削減。	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	社内の生産管理部門、社内の輸送管理部門、輸送の協力会社で連絡会議等の実施。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	社内の待機場所・ルールを決めて、路上駐車は防止。	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	生産拠点の最適地を考慮し選定。 インプラント化による中間製品の輸送等の削減。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	凸版印刷株式会社	事業所名	幸手工場			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認		契約更新時にグリーン経営認証等の取得状況を確認しています。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	貨物の輸送重量・輸送距離・輸送便からCO2排出量を算出している	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	基本的に定型パレット(1100mm×1100mm)への積み付けを実施	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	車両を発注する際に事前に貨物重量・パレット数を把握し適正な車両での発注を行っています。	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	同一方面への輸送は他の事業所との混載、少量は混載便での輸送を実施	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	貨物輸送事業者にはエコドライブ活動の実施状況を確認	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	少量輸送となる配送指示は納期調整等が可能か確認し、少量輸送を削減している	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	事前の道路混雑等が予想される場合は出発時間を早めたり、高速等の使用を許可している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用	輸送及び倉庫の一部業務を別会社と協力し活用	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	使用している貨物輸送事業者と物流部門とで定期的に監査を実施。 エコドライブ活動等の確認を行っている。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	構内に待機場所があり、委託運送会社には周辺道路への駐停車禁止を通知している	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	アイドリングストップ看板を工場敷地内に設置	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	凸版印刷株式会社	事業所名	幸手工場			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 マイカー通勤に係る重点目標の設定 ()		通勤災害の注意励行・構内走行制限速度設定・アイドリングストップ励行		○	○	○
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行		出勤・退社時に最寄駅から社バス(送迎バス)を運行		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 自転車への転換の推進	通勤における構内利用時は下車して歩行を励行・保険加入の案内	○	○	○
(01) 自転車の安全利用の促進				
03 自転車への転換の推進	駐輪場の維持管理を継続	○	○	○
(02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理				
05 在宅勤務の推進	トッパングループとして制度あり。	○	○	○
()				
07 エコドライブの推進	アイドリングストップの励行(駐車許可証への掲示)	○	○	○
(01) エコドライブの啓発				

《 1 大規模荷主 》

事業者名	凸版印刷株式会社	事業所名	総合研究所				
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置			H27	H28	H29
04	積載率の向上	廃棄物の回収業者への依頼は、廃棄物がトラック1台分になるまで保管してから発注している。			○	○	○
(03) 輸送量に応じた適正車種での発注							
09	周辺道路への路上駐停車防止のための取組	工事業者に対し、周辺道路での路上駐停車を禁止し、敷地内に停車するように依頼している。			○	○	○
()							

自動車地球温暖化対策実施方針

10	その他の必要な取組	生活環境保全条例に基づき、アイドリングストップ看板を駐車場に2箇所設置済み。	○	○	○
()					

《 1 大規模荷主 》

事業者名	凸版印刷株式会社	事業所名	嵐山工場			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	ISO14001にて物流部門も参加し、燃費向上などの取組を実施		○	○	○
(01)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認					
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	ISOなどで温暖化対策への対応を明記		○	○	○
(02)	貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認					
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握	省エネ法(荷主)にて把握		○	○	○
()						
04	積載率の向上	梱包形状の統一化		○	○	○
(01)	商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上					
05	低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進	ハイブリット車の利用やデジタルタコメーターの設置などを要請		○	○	○
(01)	貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨					

自動車地球温暖化対策実施方針

05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	毎月のエコガード推進委員会にて、活動の情報を確認	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ講習の受講などを定期的実施	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	基本的に1日1便の定期便のみの配送としている	○	○	○
07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用	子会社にアウトソーシング	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	拠点工場(朝霞工場)からを活用した効率的な輸送を実施	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	社内便の回収ルート見直しによる輸送距離の削減	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	毎月実施されるエコガード推進委員会にて燃費報告やその他の情報を共有	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	荷捌きエリアや駐車場場所などの整備	○	○	○
-------------------------------	-------------------	---	---	---

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	凸版印刷株式会社	事業所名	嵐山工場			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 マイカー通勤に係る重点目標の設定 ()		アイドリングストップ推進		○	○	○
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行		定期送迎バスの運行		○	○	○
06 エコ通勤の推進 (01) 自家用自動車の通勤手当及び許可基準等通勤制度の見直し		通勤手当の燃費基準の見直し		○	○	○
07 エコドライブの推進 (01) エコドライブの啓発		アイドリングストップ推進		○	○	○